

【資料 I】

※書名の表記は第3学年のものに統一

教科種目名≪国語(書写)≫

※詳細については、資料Ⅱ(書写-5～書写-10)を参照。

発行者の略称	東書	書名	新編 新しい書写
1 教育基本法、学校教育法及び学習指導要領との関連	<p>○「教育基本法(第1条、第2条)及び学校教育法(第49条・第30条2項)に基づき、学習指導要領において示された「資質・能力」の3つの柱で整理された各教科の目標を踏まえた工夫や配慮がなされている。</p> <p>① <input type="checkbox"/> 「知識・技能」の習得について、各単元で身に付ける知識・技能の留意点が『書写のかぎ』に掲載されている。</p> <p>② <input type="checkbox"/> 「思考力・判断力・表現力等」の育成について、職場訪問をするときの依頼状作成や学習レポートの作成をする際、書写で学んだことを生かす学習活動が【職場訪問をしよう】に設定されている。</p> <p>③ <input type="checkbox"/> 「学びに向かう力・人間性等」の涵養について、学習したことを日常生活で活用する学習活動が【書写の学習の進め方】に設定されている。</p>		
2 かながわ教育ビジョンとの関連	<p>○ 教育目標(めざすべき人間力像)に沿っているか。</p> <p>④ <input type="checkbox"/> [思いやる力]の「共生」について、他者とのかかわりや状況を意識してはがきを書く学習活動が【さまざまな書式】に設定されている。</p> <p>⑤ <input type="checkbox"/> [たくましく生きる力]の「コミュニケーション能力」について、手紙の前文、主文、末文、後付けにどのような内容を書くか考えながらお礼状を書く学習活動が【手紙を書こう】に設定されている。</p> <p>⑥ <input type="checkbox"/> [社会とかかわる力]の「働くことの大切さ」について、文字を書くための用具や用材を職人が作り上げる工程が『伝統的な用具・用材』に掲載されている。</p>		
3 内容と構成	<p>≪教科・種目共通の観点≫</p> <p>○ 中学校学習指導要領(平成29年告示)の改訂の要点を踏まえた工夫や配慮がなされているか。</p> <p>⑦ <input type="checkbox"/> 主体的・対話的で深い学びについて、見つけよう、確かめよう、生かそうという流れの学習の見通しが『書写の学習の進め方』に掲載されている。</p> <p>⑧ <input type="checkbox"/> カリキュラム・マネジメントについて、地域の行事に参加したことをパンフレットにまとめるといった他教科等と関連する学習活動が【地域の活動に参加しよう】に設定されている。</p> <p>○ 学習指導要領の改訂における教育内容の主な改善事項等を踏まえた工夫や配慮がなされているか。</p> <p>⑨ <input type="checkbox"/> 言語能力の育成について、楷書と行書を相手や目的、状況に応じて使い分けて文章を書く学習活動が【楷書と行書の使い分け】に設定されている</p> <p>⑩ <input type="checkbox"/> 伝統や文化に関する教育の充実について、漢字の成り立ちや仮名の歴史を取り上げた教材が『文字の移り変わり』に掲載されている。</p> <p>⑪ <input type="checkbox"/> 体験活動の充実について、体験したことや学習したことを生かして、自分の思いを文字で表現する学習活動が【思いを文字で表そう】に設定されている。</p> <p>⑫ <input type="checkbox"/> 学校段階間の円滑な接続について、最初の単元に小学校での学習内容が『はじめに』に、最後の単元に高等学校の芸術としての書道につながる内容が『書の古典』に掲載されている。</p> <p>⑬ <input type="checkbox"/> 情報活用能力の育成について、書写で学習した内容を用いて、情報を収集しまとめる学習活動が【本のポップを書こう】に設定されている。</p> <p>⑭ <input type="checkbox"/> 生徒の学習上の困難さへの対応について、濃淡の墨で示した文字に、青い点線や矢印、イラストを用いた筆の流れが『基本の点画の書き方』に掲載されている。</p> <p>○ 生徒にとって分かりやすく理解が深まるような構成上の工夫や配慮がなされているか。</p> <p>⑮ <input type="checkbox"/> 生徒の理解が深まる構成について、1人1台端末を活用できる学習活動が【読みやすく速く書くための動き】に示され、動画などにつながる二次元コードが掲載されている。</p> <p>≪各教科・種目別の観点≫(それぞれの教科・種目の観点は観点-2～5を参照)</p> <p>⑯ <input type="checkbox"/> 毛筆と硬筆との関連について、毛筆で書き方を確かめたのち、硬筆で書く学習活動が【点画の書き方と字形の整え方】に設定されている。</p> <p>⑰ <input type="checkbox"/> 正しい運筆の能力の育成について、墨やイラストを使って示した基本点画や字形の整え方が『基本の点画の書き方』に掲載されている。</p> <p>⑱ <input type="checkbox"/> 生活に役立てる態度を育てることについて、身の回りの文字について考える学習活動が【身の回りの文字の目的と工夫】に設定されている。</p>		
4 分量・装丁表記等	<p>⑲ <input type="checkbox"/> 学年ごとの学習内容が掲載されたページと、手紙や新聞、レポートなどの書き方が例示された『書写活用ブック』で構成されている。</p> <p>⑳ <input type="checkbox"/> 判型はB5変型判が採用されている。</p> <p>㉑ <input type="checkbox"/> 『見やすく読みまちがえにくいユニバーサルデザインフォントを採用しています。』『全ての生徒の色覚特性に適應するようにデザインしています。』と表記されている。</p>		

【資料 I】

※書名の表記は第3学年のものに統一

教科種目名≪国語(書写)≫

※詳細については、資料Ⅱ(書写-5～書写-10)を参照。

発行者の略称	三省堂	書名	現代の書写
1 教育基本法、学校教育法及び学習指導要領との関連	<p>○「教育基本法(第1条、第2条)及び学校教育法(第49条・第30条2項)に基づき、学習指導要領において示された「資質・能力」の3つの柱で整理された各教科の目標を踏まえた工夫や配慮がなされているか。</p> <p>① <input type="checkbox"/> 「知識・技能」の習得について、各単元で身に付ける知識・技能の留意点が『書き方を学ぼう』に掲載されている。</p> <p>② <input type="checkbox"/> 「思考力・判断力・表現力等」の育成について、編集会議を開き、レイアウトを決めて新聞を作成する際、書写で学んだことを生かす学習活動が【グループ新聞を作ろう】に設定されている。</p> <p>③ <input type="checkbox"/> 「学びに向かう力・人間性等」の涵養について、学習したことを日常生活で活用する学習活動が【書いて身につけよう】に設定されている。</p>		
2 かながわ教育ビジョンとの関連	<p>○ 教育目標(めざすべき人間力像)に沿っているか。</p> <p>④ <input type="checkbox"/> [思いやる力]の「共生」について、他者とかかわりや状況を意識してはがきを書く学習活動が【日常の書式】に設定されている。</p> <p>⑤ <input type="checkbox"/> [たくましく生きる力]の「コミュニケーション能力」について、地域の魅力についてインタビューしたことをまとめる学習活動が【情報誌を作ろう】に設定されている。</p> <p>⑥ <input type="checkbox"/> [社会とかかわる力]の「働くことの大切さ」について、文字に関わる仕事に就いている人が大切にしている文字の魅力が『身のまわりの文字』に掲載されている。</p>		
3 内容と構成	<p>≪教科・種目共通の観点≫</p> <p>○ 中学校学習指導要領(平成29年告示)の改訂の要点を踏まえた工夫や配慮がなされているか。</p> <p>⑦ <input type="checkbox"/> 主体的・対話的で深い学びについて、書き方を学ぼう、書いて身に付けるという流れの学習の見通しが『この教科書の使い方』に掲載されている。</p> <p>⑧ <input type="checkbox"/> カリキュラム・マネジメントについて、1年間のできごとをまとめるといった他教科等と関連する学習活動が【グループ新聞を作ろう】に設定されている。</p> <p>○ 学習指導要領の改訂における教育内容の主な改善事項等を踏まえた工夫や配慮がなされているか。</p> <p>⑨ <input type="checkbox"/> 言語能力の育成について、楷書と行書を相手や目的、状況に応じて使い分けて文章を書く学習活動が【楷書と行書の使い分け】に設定されている。</p> <p>⑩ <input type="checkbox"/> 伝統や文化に関する教育の充実について、漢字の成り立ちや仮名の歴史を取り上げた教材が『文字の変遷』に掲載されている。</p> <p>⑪ <input type="checkbox"/> 体験活動の充実について、体験したことや学習したことを生かして、編集方針を立て、編集会議を開いて記事を書く学習活動が【情報誌を作ろう】に設定されている。</p> <p>⑫ <input type="checkbox"/> 学校段階間の円滑な接続について、冒頭に姿勢や筆の持ち方が『学習のはじめに』に、高等学校の学習につながる内容が資料編の『書の古典』に掲載されている。</p> <p>⑬ <input type="checkbox"/> 情報活用能力の育成について、書写で学習した内容を用いて、情報を収集しまとめる学習活動が【情報誌を作ろう】に設定されている。</p> <p>⑭ <input type="checkbox"/> 生徒の学習上の困難さへの対応について、濃淡の墨で書かれた折れや払いなどに、筆圧や運筆の方向を示した白い点線が『点画の種類と筆使い』に掲載されている。</p> <p>○ 生徒にとって分かりやすく理解が深まるような構成上の工夫や配慮がなされているか。</p> <p>⑮ <input type="checkbox"/> 生徒の理解が深まる構成について、1人1台端末を活用できる学習活動が【点画の種類と筆使い】に示され、動画などにつながる二次元コードが掲載されている。</p> <p>≪各教科・種目別の観点≫(それぞれの教科・種目の観点は観点-2～5を参照)</p> <p>⑯ <input type="checkbox"/> 毛筆と硬筆との関連について、毛筆で書き方を確かめたのち、硬筆で書く学習活動が【点画の省略】に設定されている。</p> <p>⑰ <input type="checkbox"/> 正しい運筆の能力の育成について、朱墨の濃淡で示された穂先の動きや、イラストや矢印で示された筆圧や筆脈が『字形の整え方と筆使い』に掲載されている。</p> <p>⑱ <input type="checkbox"/> 生活に役立てる態度を育てることについて、身の回りの文字について考える学習活動が【身のまわりの文字】に設定されている。</p>		
4 分量・装丁表記等	<p>⑲ <input type="checkbox"/> 学年ごとの学習内容が掲載された『本編』と、はがきの書き方などが例示された『日本の書式』などの『資料編』とで構成されている。</p> <p>⑳ <input type="checkbox"/> 判型はB5判が採用されている。</p> <p>㉑ <input type="checkbox"/> 『この教科書は、カラーユニバーサルデザインに配慮して編集しています。』と表記されている。</p>		

【資料 I】

※書名の表記は第3学年のものに統一

教科種目名≪国語(書写)≫

※詳細については、資料Ⅱ(書写-5～書写-10)を参照。

発行者の略称	教出	書名	中学書写
1 教育基本法、学校教育法及び学習指導要領との関連	<p>○「教育基本法(第1条、第2条)及び学校教育法(第49条・第30条2項)に基づき、学習指導要領において示された「資質・能力」の3つの柱で整理された各教科の目標を踏まえた工夫や配慮がなされているか。</p> <p>① <input type="checkbox"/> 「知識・技能」の習得について、各単元で身に付ける知識・技能の留意点が『目標』に掲載されている。</p> <p>② <input type="checkbox"/> 「思考力・判断力・表現力等」の育成について、お薦めの本や心に残った言葉を紹介する際、書写で学んだことを生かす学習活動が【お薦めの本の帯やポップを作る】に設定されている。</p> <p>③ <input type="checkbox"/> 「学びに向かう力・人間性等」の涵養について、学習したことを日常生活で活用する学習活動が【学習の進め方】に設定されている。</p>		
2 かながわ教育ビジョンとの関連	<p>○ 教育目標(めざすべき人間力像)に沿っているか。</p> <p>④ <input type="checkbox"/> [思いやる力]の「共生」について、他者とのかかわりや状況を意識してはがきを書く学習活動が【書式の教室】に設定されている。</p> <p>⑤ <input type="checkbox"/> [たくましく生きる力]の「コミュニケーション能力」について、地域の方々に向けて清掃活動実施のお知らせを書く学習活動が【掲示物(ポスター)に案内を書く】に設定されている。</p> <p>⑥ <input type="checkbox"/> [社会とかかわる力]の「働くことの大切さ」について、文字を書くための用具や用材を職人が作り上げる工程が『筆、墨、硯、紙について知ろう』に掲載されている。</p>		
3 内容と構成	<p>≪教科・種目共通の観点≫</p> <p>○ 中学校学習指導要領(平成29年告示)の改訂の要点を踏まえた工夫や配慮がなされているか。</p> <p>⑦ <input type="checkbox"/> 主体的・対話的で深い学びについて、目標、考えよう、生かそう、振り返ろう、学習や日常生活に生かそうという流れの学習の見通しが『学習の進め方』に掲載されている。</p> <p>⑧ <input type="checkbox"/> カリキュラム・マネジメントについて、校庭の植物の観察をレポートにまとめるといった他教科等と関連する学習活動が【学校生活に生かして書く】に設定されている。</p> <p>○ 学習指導要領の改訂における教育内容の主な改善事項等を踏まえた工夫や配慮がなされているか。</p> <p>⑨ <input type="checkbox"/> 言語能力の育成について、楷書と行書を相手や目的、状況に応じて使い分けて文章を書く学習活動が【さまざまな書く場面】に設定されている。</p> <p>⑩ <input type="checkbox"/> 伝統や文化に関する教育の充実について、漢字の成り立ちや仮名の歴史を取り上げた教材が『文字の変遷』に掲載されている。</p> <p>⑪ <input type="checkbox"/> 体験活動の充実について、体験したことや学習したことを生かして、名言や感謝の気持ちを伝える学習活動が【三年間の学習の成果を生かそう】に設定されている。</p> <p>⑫ <input type="checkbox"/> 学校段階間の円滑な接続について、小学校の学習内容が『姿勢と用具の使い方』や『筆使い』に、高等学校の学習につながる内容が『書の古典の鑑賞』に掲載されている。</p> <p>⑬ <input type="checkbox"/> 情報活用能力の育成について、書写で学習した内容を用いて、情報を収集しまとめる学習活動が【新聞を書く】に設定されている。</p> <p>⑭ <input type="checkbox"/> 生徒の学習上の困難さへの対応について、濃淡の朱墨で示された文字に黒い矢印や筆圧などを示した文字、イラストが『筆使い』に掲載されている。</p> <p>○ 生徒にとって分かりやすく理解が深まるような構成上の工夫や配慮がなされているか。</p> <p>⑮ <input type="checkbox"/> 生徒の理解が深まる構成について、1人1台端末を活用できる学習活動が【筆使い-基本点画-】に示され、動画などにつながる二次元コードが掲載されている。</p> <p>≪各教科・種目別の観点≫(それぞれの教科・種目の観点は観点-2～5を参照)</p> <p>⑯ <input type="checkbox"/> 毛筆と硬筆との関連について、毛筆で書き方を確かめたのち、硬筆で書く学習活動が【筆使いと字形】に設定されている。</p> <p>⑰ <input type="checkbox"/> 正しい運筆の能力の育成について、イラストを使って示した筆使いや穂先の通り道、筆圧が『筆使い』に掲載されている。</p> <p>⑱ <input type="checkbox"/> 生活に役立てる態度を育てることについて、身の回りの文字について考える学習活動が【多様な表現による文字】に設定されている。</p>		
4 分量・装丁表記等	<p>⑲ <input type="checkbox"/> 学年ごとの学習内容が掲載されたページと、日常生活で用いる手紙の書き方などが示された『書式の教室』などの資料ページで構成されている。</p> <p>⑳ <input type="checkbox"/> 判型はAB判が採用されている。</p> <p>㉑ <input type="checkbox"/> 『色覚の個人差を問わず、より多くの人に見やすいカラーユニバーサルデザインに配慮しています。』『見やすさ・読みやすさに配慮したユニバーサルデザインフォントを使用しています。』と表記されている。</p>		

【資料Ⅰ】

※書名の表記は第3学年のものに統一

教科種目名≪国語(書写)≫

※詳細については、資料Ⅱ(書写-5～書写-10)を参照。

発行者の略称	光村	書名	中学書写
1 教育基本法、学校教育法及び学習指導要領との関連			<p>○「教育基本法(第1条、第2条)及び学校教育法(第49条・第30条2項)に基づき、学習指導要領において示された「資質・能力」の3つの柱で整理された各教科の目標を踏まえた工夫や配慮がなされているか。</p> <p>① <input type="checkbox"/> 「知識・技能」の習得について、各単元で身に付ける知識・技能の留意点が『学びのカギ』に掲載されている。</p> <p>② <input type="checkbox"/> 「思考力・判断力・表現力等」の育成について、調べるテーマを決め、情報を集めてノートにまとめる際、書写で学んだことを生かす学習活動が【情報収集の達人になろう】に設定されている。</p> <p>③ <input type="checkbox"/> 「学びに向かう力・人間性等」の涵養について、学習したことを日常生活で活用する学習活動が【学習の進め方】に設定されている。</p>
2 かながわ教育ビジョンとの関連			<p>○ 教育目標(めざすべき人間力像)に沿っているか。</p> <p>④ <input type="checkbox"/> [思いやる力]の「共生」について、他者とのかかわりや状況を意識してはがきを書く学習活動が【日常に役立つ書式】に設定されている。</p> <p>⑤ <input type="checkbox"/> [たくましく生きる力]の「コミュニケーション能力」について、話し合いでテーマを決め、地域の防災に取り組む学習活動が【防災フェスタを開こう】に設定されている。</p> <p>⑥ <input type="checkbox"/> [社会とかかわる力]の「働くことの大切さ」について、フォントデザイナーが大切にしている文字の魅力や表現が『全国フォント見つけ隊』に掲載されている。</p>
3 内容と構成			<p>≪教科・種目共通の観点≫</p> <p>○ 中学校学習指導要領(平成29年告示)の改訂の要点を踏まえた工夫や配慮がなされているか。</p> <p>⑦ <input type="checkbox"/> 主体的・対話的で深い学びについて、考えよう、確かめよう、生かそうという流れの学習の見通しが『学習の進め方』に掲載されている。</p> <p>⑧ <input type="checkbox"/> カリキュラム・マネジメントについて、興味のある職業の魅力について情報を集めて整理し表現するといった他教科等と関連する学習活動が【職業ガイドを作ろう】に設定されている。</p> <p>○ 学習指導要領の改訂における教育内容の主な改善事項等を踏まえた工夫や配慮がなされているか。</p> <p>⑨ <input type="checkbox"/> 言語能力の育成について、楷書と行書を相手や目的、状況に応じて使い分けて文章を書く学習活動が【楷書と行書の使い分け】に設定されている。</p> <p>⑩ <input type="checkbox"/> 伝統や文化に関する教育の充実について、漢字の成り立ちや仮名の歴史を取り上げた教材が『文字の歴史を探る』に掲載されている。</p> <p>⑪ <input type="checkbox"/> 体験活動の充実について、体験したことや学習したことを生かして、集めた情報を整理し表現する学習活動が【冊子にまとめよう】に設定されている。</p> <p>⑫ <input type="checkbox"/> 学校段階間の円滑な接続について、巻頭に小学校の学習内容が『中学書写スタートブック』に、巻末に高等学校で学ぶ芸術としての書道に触れる内容が『なりきり、書聖・王羲之』に掲載されている。</p> <p>⑬ <input type="checkbox"/> 情報活用能力の育成について、書写で学習した内容を用いて、情報を収集しまとめる学習活動が【職業ガイドを作ろう】に設定されている。</p> <p>⑭ <input type="checkbox"/> 生徒の学習上の困難さへの対応について、2色の濃淡の墨で示された文字に赤い矢印や点線、筆順などを示した文字や、イラストが『確かめよう』に掲載されている。</p> <p>○ 生徒にとって分かりやすく理解が深まるような構成上の工夫や配慮がなされているか。</p> <p>⑮ <input type="checkbox"/> 生徒の理解が深まる構成について、1人1台端末を活用できる学習活動が【漢字の筆使い】に示され、動画などにつながる二次元コードが掲載されている。</p> <p>≪各教科・種目別の観点≫(それぞれの教科・種目の観点は観点-2～5を参照)</p> <p>⑯ <input type="checkbox"/> 毛筆と硬筆との関連について、毛筆で書き方を確かめたのち、硬筆で書く学習活動が【点画の変化】に設定されている。</p> <p>⑰ <input type="checkbox"/> 正しい運筆の能力の育成について、2色の濃淡の墨と筆の写真やイラストを用いた始筆・送筆・終筆のリズムや筆圧、点画のつながりが『楷書に調和する仮名』に掲載されている。</p> <p>⑱ <input type="checkbox"/> 生活に役立てる態度を育てることについて、身の回りの文字について考える学習活動が【全国文字マップ】に設定されている。</p>
4 分量・装丁表記等			<p>⑲ <input type="checkbox"/> 学年ごとの学習内容やレポートの書き方などの書式が掲載された『教科書(本編)』と、硬筆学習のための『書写ブック』で構成されている。</p> <p>⑳ <input type="checkbox"/> 判型はB5変型判が採用されている。</p> <p>㉑ <input type="checkbox"/> 『全てのページについて、次の観点から、専門家による校閲を行っています。カラーユニバーサルデザイン(後略)』『目次や単元名には、見やすく読みまちがえにくいユニバーサルデザインフォントを採用しています。』と表記されている。</p>

【資料Ⅱ】

教科種目名《国語(書写)》

1 教育基本法、学校教育法及び学習指導要領との関連

① 生きて働く「知識・技能」を習得するための工夫や配慮	
東書	「知識・技能」の習得について、各単元で身に付ける知識・技能の留意点である字の形の特徴や書くときの動き、行書の特徴として、第1学年では点画の連続、第2学年では筆順の変化が『書写のかぎ』に掲載されている。
三省堂	「知識・技能」の習得について、各単元で身に付ける知識・技能の留意点である字の形の特徴や書くときの動き、行書の特徴として、第1学年では点画の連続、第2学年では筆順の変化が『目標』や『書き方を学ぼう』に掲載されている。
教出	「知識・技能」の習得について、各単元で身に付ける知識・技能の留意点である字の形の特徴や書くときの動き、行書の特徴として、第1学年では点画の連続と変化、第2学年では筆順の変化が『目標』に掲載されている。
光村	「知識・技能」の習得について、各単元で身に付ける知識・技能の留意点である字の形の特徴や書くときの動き、行書の特徴として、第1学年では点画の連続、第2学年では筆順の変化が『学びのかぎ』に掲載されている。
② 未知の状況にも対応できる「思考力・判断力・表現力等」の育成を図るための工夫や配慮	
東書	「思考力・判断力・表現力等」の育成について、職場訪問をするときの依頼状や礼状作成、学習をしたことをポスターやレポートで報告する際、書写で学んだことを生かす学習活動が、第1学年では【職場訪問をしよう】に、第3学年では、情報をノートに整理する学習活動が【自分のノートを見直す】に設定されている。
三省堂	「思考力・判断力・表現力等」の育成について、編集会議を開き、レイアウトを決めて新聞を作成する際、書写で学んだことを生かす学習活動が、第1学年では【グループ新聞を作ろう】に、第3学年では編集方針を立て、言葉を集めて名言集を作る学習活動が【名言集を作ろう】に設定されている。
教出	「思考力・判断力・表現力等」の育成について、お薦めの本や心に残った言葉を紹介する際、書写で学んだことを生かす学習活動が、第1学年では【お薦めの本の帯やポップを作る】に、第3学年では、中学校の魅力を伝えるリーフレットを作成する学習活動が【新入生に自分の中学校の魅力を、書いて伝えよう】に設定されている。
光村	「思考力・判断力・表現力等」の育成について、調べるテーマを決め、情報を集めてノートにまとめる際、書写で学んだことを生かす学習活動が、第1学年では【情報収集の達人になろう】に、第3学年では伝えたい内容を整理し、構成を考えて冊子にまとめる学習活動が【冊子にまとめよう】に設定されている。
③ 学びを人生や社会に生かそうとする「学びに向かう力・人間性等」を涵養するための工夫や配慮	
東書	「学びに向かう力・人間性等」の涵養について、学習したことを日常生活で活用する学習活動が【書写の学習の進め方】に、第3学年では、書写で身に付けた力を生かして、自分の思いを表現する学習活動が【思いを文字で表そう】に設定されている。
三省堂	「学びに向かう力・人間性等」の涵養について、学習したことを日常生活で活用する学習活動が【書いて身につけよう】に、第3学年では、書写で身に付けた力を生かして、中学校生活の中で出合った言葉をまとめる学習活動が【名言集を作ろう】に設定されている。
教出	「学びに向かう力・人間性等」の涵養について、学習したことを日常生活で活用する学習活動が【学習の進め方】に、第3学年では、書写で身に付けた力を生かして、日常生活で活用する学習活動が【三年間の学習の成果を生かそう】に設定されている。
光村	「学びに向かう力・人間性等」の涵養について、学習したことを日常生活で活用する学習活動が【学習の進め方】に、第3学年では、書写で身に付けた力を生かして、未来の自分をイメージして文字を書く学習活動が【自分らしい文字】に設定されている。

2 かながわ教育ビジョンとの関連

④ [思いやる力]他者を尊重し、多様性を認め合う、思いやる力を育てる。	
(共生、豊かな心、いのちの大切さ、生命の尊厳、人権教育、道徳教育 など)	
東書	[思いやる力]の「共生」について、他者とのかかわりや状況を意識してはがきを書く学習活動が【さまざまな書式】に、第2学年では、書体を選択して手紙を書く学習活動が【楷書と行書の使い分け】に設定されている。
三省堂	[思いやる力]の「共生」について、他者とのかかわりや状況を意識してはがきを書く学習活動が【日常の書式】に、第2学年では、書体を選択してお礼状を書く学習活動が【楷書と行書の使い分け】に設定されている。
教出	[思いやる力]の「共生」について、他者とのかかわりや状況を意識してはがきを書く学習活動が【書式の教室】に、第2学年では、感謝の気持ちを色紙に書く学習活動が【生活に生かそう】に設定されている。
光村	[思いやる力]の「共生」について、他者とのかかわりや状況を意識してはがきを書く学習活動が【日常に役立つ書式】に、感謝の気持ちを手書きで伝える学習活動が【手書きで伝えよう】に設定されている。

⑤ [たくましく生きる力] 自立した一人の人間として、社会をたくましく生き抜くことのできる力を育てる。	
(公共心、規範意識、責任感、国際化、情報化、食育、健康教育、コミュニケーション能力、消費者教育 など)	
東書	[たくましく生きる力]の「コミュニケーション能力」について、お礼の手紙を書くといった学校内外の人々との交流を図る学習活動が【書写活用ブック】に、第1学年では、手紙の前文、主文、末文、後付けにどのような内容を書くか考えながらお礼状を書く学習活動が【手紙を書こう】に設定されている。
三省堂	[たくましく生きる力]の「コミュニケーション能力」について、お礼の手紙を書くといった学校内外の人々との交流を図る学習活動が【日常の書式】に、第2学年では、地域の魅力についてインタビューしたことをまとめる学習活動が【情報誌を作ろう】に設定されている。
教出	[たくましく生きる力]の「コミュニケーション能力」について、お礼の手紙を書くといった学校内外の人々との交流を図る学習活動が【書式の教室】に、第2学年では、地域の方々に向けて清掃活動実施のお知らせを書く学習活動が【掲示物(ポスター)に案内を書く】に設定されている。
光村	[たくましく生きる力]の「コミュニケーション能力」について、お礼の手紙を書くといった学校内外の人々との交流を図る学習活動が【日常に役立つ書式】に、第3学年では、話し合いでテーマを決め、地域の防災に取り組む学習活動が【防災フェスタを開こう】に設定されている。
⑥ [社会とかかわる力] 社会とかかわりの中で、自己を成長させ、社会に貢献する力を育てる。	
(生きること、働くことの大切さ、自然や人とのふれあい体験、地域貢献活動、ボランティア活動、環境教育、シチズンシップ教育 など)	
東書	[社会とかかわる力]の「働くことの大切さ」について、文字を書くための用具や用材を職人が作り上げる工程が『伝統的な用具・用材』に、資料館でインタビューした職員へのお礼状が『書写活用ブック』に掲載されている。
三省堂	[社会とかかわる力]の「働くことの大切さ」について、文字に関わる仕事に就いている人が大切にしている文字の魅力が『身のまわりの文字』に、職場体験でお世話になった方々へのお礼状が『日常の書式』に掲載されている。
教出	[社会とかかわる力]の「働くことの大切さ」について、文字を書くための用具や用材を職人が作り上げる工程が『筆、墨、硯、紙について知ろう』に、職場体験でお世話になった方々へのお礼状が『書式の教室』に掲載されている。
光村	[社会とかかわる力]の「働くことの大切さ」について、フォントデザイナーが大切にしている文字の魅力や表現が『全国フォント見つけ隊』に、職場体験でお世話になった方々へのお礼状が『日常に役立つ書式』に掲載されている。

3 内容と構成

- 中学校学習指導要領(平成29年告示)の改訂の要点を踏まえた工夫や配慮がなされているか。

⑦ 主体的・対話的で深い学びの実現に向けた学習活動に資する工夫や配慮	
東書	主体的・対話的で深い学びについて、見つけよう、確かめよう、生かそうという流れの学習の見通しが『書写の学習の進め方』に掲載されている。また、学習を振り返り、目標を達成できたか自己評価する学習活動が【振り返ろう】に設定されている。
三省堂	主体的・対話的で深い学びについて、書き方を学ぼう、書いて身に付けるという流れの学習の見通しが『この教科書の使い方』に掲載されている。また、単元を通して学んだことを自分の言葉でまとめる学習活動が【振り返ろう】に設定されている。
教出	主体的・対話的で深い学びについて、目標、考えよう、生かそう、振り返ろう、学習や日常生活に生かそうという流れの学習の見通しが『学習の進め方』に掲載されている。また、課題が解決できたかどうかを自己評価する学習活動が【振り返ろう】に設定されている。
光村	主体的・対話的で深い学びについて、考えよう、確かめよう、生かそうという流れの学習の見通しが『学習の進め方』に掲載されている。また、学習したことを生かして書いた後に、目標が達成できたか自己評価する学習活動が【振り返ろう】に設定されている。
⑧ 他教科との関連等、カリキュラム・マネジメントに資する工夫や配慮	
(教科等横断的に学習を展開する上での工夫や配慮、中学校3年間や義務教育学校9年間の学びのつながりや系統性、基礎的な学習と発展的な学習との明確な区分けなど、生徒が学習を進めたり教員が指導計画を立てたりしやすいような工夫や配慮など)	
東書	カリキュラム・マネジメントについて、地域の行事に参加したことをパンフレットにまとめるといった他教科等と関連する学習活動が【地域の活動に参加しよう】に、ポスターやリーフレットを書くなど他教科等と関連する学習活動が【さまざまな書式】に設定されている。
三省堂	カリキュラム・マネジメントについて、1年間のできごとをまとめるといった他教科等と関連する学習活動が【グループ新聞を作ろう】に、行書で書かれた都道府県名を鉛筆でなぞり書きするなど他教科等と関連する学習活動が【筆順の変化】に設定されている。
教出	カリキュラム・マネジメントについて、校庭の植物の観察をレポートにまとめるといった他教科等と関連する学習活動が【学校生活に生かして書く】に、新聞やポスターを書くなど他教科等と関連する学習活動が【学習を生かして書く】に設定されている。
光村	カリキュラム・マネジメントについて、興味のある職業の魅力などについて情報を集めて整理し表現するといった他教科等と関連する学習活動が【職業ガイドを作ろう】に、都道府県名を行書で書くなど他教科等と関連する学習活動が【日常に役立つ書式 [都道府県行書一覧]】に設定されている。

- 学習指導要領の改訂における教育内容の主な改善事項等を踏まえた工夫や配慮がなされているか。

⑨ 言語能力の確実な育成	
東書	言語能力の育成について、楷書と行書を相手や目的、状況に応じて使い分けて文章を書く学習活動が【楷書と行書の使い分け】に、行書の書き方の理解の確認や、楷書と行書の特徴を理解したか確認する学習活動が【書写テストに挑戦！】に設定されている。
三省堂	言語能力の育成について、楷書と行書を相手や目的、状況に応じて使い分けて文章を書く学習活動が【楷書と行書の使い分け】に、第2学年では、行書の書き方の理解の確認や、楷書と行書の特徴を理解したか確認する学習活動が【学力テスト問題】に設定されている。
教出	言語能力の育成について、楷書と行書を相手や目的、状況に応じて使い分けて文章を書く学習活動が【さまざまな書く場面】に、行書の書き方の理解の確認や、楷書と行書の特徴を理解したか確認する学習活動が【書写テストで確認】に設定されている。
光村	言語能力の育成について、楷書と行書を相手や目的、状況に応じて使い分けて文章を書く学習活動が【楷書と行書の使い分け】に、第3学年では、書写ブックに行書の書き方の理解の確認や、楷書と行書の特徴を理解したか確認する学習活動が【書写テストに挑戦しよう】に設定されている。
⑩ 伝統や文化に関する教育の充実	
東書	伝統や文化に関する教育の充実について、漢字の成り立ちや仮名の歴史などを取り上げた教材が『文字の移り変わり』に掲載されている。また、第2学年では、“枕草子”を硬筆で書く学習活動が【書いて味わおう】に設定されている。
三省堂	伝統や文化に関する教育の充実について、漢字の成り立ちや仮名の歴史などについて取り上げた教材が『文字の変遷』に掲載されている。また、第2学年では、“枕草子”や“平家物語”の冒頭を硬筆で書く学習活動が【行書に調和する仮名】に設定されている。
教出	伝統や文化に関する教育の充実について、漢字の成り立ちや仮名の歴史などについて取り上げた教材が『文字の変遷』に掲載されている。また、第2学年では、“枕草子”を硬筆で書く学習活動が【学習を生かして書く一行書と仮名の調和と配列】に設定されている。
光村	伝統や文化に関する教育の充実について、漢字の成り立ちや仮名の歴史などについて取り上げた教材が『文字の歴史を深める』に掲載されている。また、第2学年では、“枕草子”を行書で書く学習活動が【季節のおしり②】に設定されている。
⑪ 体験活動の充実	
東書	体験活動の充実について、体験したことや学習したことを生かして、自分の思いを文字で表現する学習活動が、第1学年では【手紙を書こうーお礼状】に、第2学年では【地域の活動に参加しようー防災訓練】に、第3学年では【思いを文字で表そう】に設定されている。
三省堂	体験活動の充実について、体験したことや学習したことを生かして、編集方針を立て、編集会議を開いて記事を書く学習活動が、第1学年では【グループ新聞を作ろう】に、第2学年では【情報誌を作ろう】に、第3学年では【名言集を作ろう】に設定されている。
教出	体験活動の充実について、体験したことや学習したことを生かして、名言や感謝の気持ちを伝える学習活動が、第1学年では【お薦めの本の帯やポップを作る】に、第2学年では【生活に生かそう】に、第3学年では【三年間の学習の成果を生かそう】に設定されている。
光村	体験活動の充実について、体験したことや学習したことを生かして、集めた情報を整理し表現する学習活動が、第1学年では【情報収集の達人になろう】に、第2学年では【行書を活用しよう】に、第3学年では【冊子にまとめよう】に設定されている。
⑫ 学校段階間の円滑な接続	
東書	学校段階間の円滑な接続について、最初の単元に小学校での学習内容が『はじめに』に、最後の単元に高等学校の芸術としての書道につながる内容が『書の古典』に掲載されている。冒頭に小学校での学習内容が『これまで学んできたこと』に掲載されている。第3学年では、中国や日本の古典作品、書体や書風についての内容が『書の古典』に掲載されている。
三省堂	学校段階間の円滑な接続について、冒頭に姿勢や筆の持ち方が『学習のはじめに』に、高等学校の学習につながる内容が資料編の『書の古典』に掲載されている。冒頭には、書写学習時の基本姿勢と構え方、筆記具の持ち方、筆の運び方、用具の扱い方などが掲載されている。資料編では、王羲之の“楽毅論”を取り上げ、古典作品をみて書の表現を味わう内容が『書の古典』に掲載されている。
教出	学校段階間の円滑な接続について、小学校の学習内容が『姿勢と用具の使い方』や『筆使い』に、高等学校の学習につながる内容が『書の古典の鑑賞』に掲載されている。第2学年では、唐の四大家の作品が取り上げられ、書風の違いを鑑賞する学習活動が【書の古典の鑑賞】に設定されている。また、巻末には平安時代の仮名の写本が『芸術としての書道』に掲載されている。
光村	学校段階間の円滑な接続について、巻頭に小学校の学習内容が『中学書写スタートブック』に、巻末に高等学校で学ぶ芸術としての書道に触れる内容が『なりきり、書聖・王羲之』に掲載されている。巻頭には、小学校の学習内容が『姿勢・筆記具の持ち方』などに掲載され、巻末には、王羲之の書が取り上げられ、“蘭亭序”の冒頭部分をなぞる学習活動が【なりきり、書聖・王羲之】に設定されている。

⑬ 情報活用能力の育成	
東書	情報活用能力の育成について、書写で学習した内容を用いて情報を収集しまとめる学習活動として、第1学年では、職場訪問をする際の依頼から学習の報告までの学習活動が【職場訪問をしよう】に、第2学年では、好きな本を紹介するポップを作る学習活動が【本のポップを書こう】に設定されている。
三省堂	情報活用能力の育成について、書写で学習した内容を用いて情報を収集しまとめる学習活動として、第1学年では、1年間の出来事をまとめたグループ新聞を作る学習活動が【グループ新聞を作ろう】に、第2学年では、地域の情報をまとめた情報誌を作る学習活動が【情報誌を作ろう】に設定されている。
教出	情報活用能力の育成について、書写で学習した内容を用いて、情報を収集しまとめる学習活動として、第1学年では情報を整理してポスターなどを書く学習活動が【ポスターを書く】に、第2学年では、情報を伝える工夫について考え、新聞などを書く学習活動が【新聞を書く】に設定されている。
光村	情報活用能力の育成について、書写で学習した内容を用いて、情報を収集しまとめる学習活動として、第1学年では、集めた情報をノートにまとめる学習活動が【情報収集の達人になろう】に、第2学年では、興味のある職業の魅力について調べ、新聞にまとめる学習活動が【職業ガイドを作ろう】に設定されている。
⑭ 生徒の学習上の困難さに応じた工夫	
東書	生徒の学習上の困難さへの対応について、濃淡の墨で示した文字に、青い点線や矢印、イラストを用いた筆の流れが『基本の点画の書き方』に掲載されている。また、第2学年では、教材ごとに文字を正しく書くためのポイントが『書写のかぎ』に掲載されている。
三省堂	生徒の学習上の困難さへの対応について、濃淡の墨で書かれた折れや払いなどに、筆圧や運筆の方向を示した白い点線が『点画の種類と筆使い』に掲載されている。また、第2学年では、楷書と行書の筆順を比べる学習活動が【書き方を学ぼう】に設定されている。
教出	生徒の学習上の困難さへの対応について、濃淡の朱墨で示された文字に黒い矢印や筆圧などを示した文字、イラストが『筆使い』に掲載されている。また、第1学年では、筆の動かし方を確かめる学習活動が【行書の筆使い】に設定されている。
光村	生徒の学習上の困難さへの対応について、2色の濃淡の墨で示された文字に赤い矢印や点線、筆順などを示した文字や、イラストが『確かめよう』に掲載されている。また、第1学年では、基本の点画の書き方を筆の形と赤い点線、数字を使って筆圧や穂先の向きなどの表現が『点画の種類』に掲載されている。
⑮ 生徒にとって分かりやすく理解が深まるような構成上の工夫や配慮がなされているか。	
東書	生徒の理解が深まる構成について、1人1台端末を活用できる学習活動が、第1学年では【読みやすく書くための動き】に、第2学年では【伝統的な用具・用材】などに示され、動画などにつながる二次元コードが掲載されている。
三省堂	生徒の理解が深まる構成について、1人1台端末を活用できる学習活動が、第1学年では【点画の種類と筆使い】に、第2学年では【行書に調和する仮名】などに示され、動画などにつながる二次元コードが掲載されている。
教出	生徒の理解が深まる構成について、1人1台端末を活用できる学習活動が、第1学年では【筆使い-基本点画-】に、第2学年では【行書と仮名の調和】などに示され、動画などにつながる二次元コードが掲載されている。
光村	生徒の理解が深まる構成について、1人1台端末を活用できる学習活動が、第1学年では【漢字の筆使い】に、第2学年では【点画の省略】などに示され、動画などにつながる二次元コードが掲載されている。
⑯ 毛筆と硬筆との関連をもたせるための工夫や配慮がなされているか。	
東書	毛筆と硬筆との関連について、毛筆で書き方を確かめたのち、硬筆で書く学習活動が、第1学年では【点画の書き方と字形の整え方】に、第2学年では【点画の省略】に設定されている。
三省堂	毛筆と硬筆との関連について、毛筆で書き方を確かめたのち、硬筆で書く学習活動が、第1学年では【書いて身につけよう】に、第2学年では【点画の省略】に設定されている。
教出	毛筆と硬筆との関連について、毛筆で書き方を確かめたのち、硬筆で書く学習活動が、第1学年では【筆使いと字形】に、第2学年では【筆順の変化】に設定されている。
光村	毛筆と硬筆との関連について、毛筆で書き方を確かめたのち、硬筆で書く学習活動が、第1学年では【点画の変化】に、第2学年では【点画の省略】に設定されている。

⑪ 文字を正しく整えて速く書く能力を育成するための工夫や配慮がなされているか。	
東書	正しい運筆の能力の育成について、墨やイラストを使って示した基本点画や字形の整え方として、第1学年では、朱墨やキャラクターによって示された穂先の通り道や穂先の向きが『基本の点画の書き方』に、第2学年では、濃淡の朱墨、吹き出しやイラストで表された行書特有の4つの筆の動きが『見つけよう』に掲載されている。
三省堂	正しい運筆の能力の育成について、朱墨の濃淡で示された穂先の動きや、イラストや矢印で示された筆圧や筆脈として、第1学年では、毛筆の穂先の動かし方を表したイラストが『字形の整え方と筆使い』に、第2学年では、キャラクターの吹き出しやイラストで書かれた仮名の筆脈が『行書に調和する仮名』に掲載されている。
教出	正しい運筆の能力の育成について、イラストを使って示した筆使いや穂先の通り道、筆圧として、第1学年では、筆を止めるところを黒丸で表現し、穂先の向きや筆圧を3段階の数字で示した筆のイラストが『筆使い』に、第2学年では、筆使いを拡大したイラストが『筆順の変化』に掲載されている。
光村	正しい運筆の能力の育成について、2色の濃淡の墨と筆の写真やイラストを用いた始筆・送筆・終筆のリズムや筆圧、点画のつながりとして、第1学年では、平仮名の字源が『楷書に調和する仮名』に、第2学年では、赤い点と点線で示された行書の点画の変化や連続の筆脈が『行書に調和する仮名』に掲載されている。
⑫ 日常の学習や生活に役立てる態度を育てるための工夫や配慮がなされているか。	
東書	生活に役立てる態度を育てることについて、身の回りの文字について考える学習活動が【身の回りの文字の目的と工夫】に設定されている。また、のし袋や複写式の用紙の書き方などが『さまざまな書式』に掲載されている。
三省堂	生活に役立てる態度を育てることについて、身の回りの文字について考える学習活動が【身のまわりの文字】に設定されている。また、送り状やのし袋の書き方などが『日常の書式』に掲載されている。
教出	生活に役立てる態度を育てることについて、身の回りの文字について考える学習活動が【多様な表現による文字】に設定されている。また、小包伝票や包み紙の書き方などが『書式の教室』に掲載されている。
光村	生活に役立てる態度を育てることについて、身の回りの文字について考える学習活動が【全国文字マップ】に設定されている。また、送り状やレポートの書き方などが『日常に役立つ書式』に掲載されている。

4 分量・装丁・表記等

⑬ 各内容の分量とその配分は適切であるか。	
東書	学年ごとの学習内容が掲載されたページと、手紙や新聞、レポートなどの書き方が例示された『書写活用ブック』で構成されている。また、楷書体と行書体で示した常用漢字表が掲載されている。
三省堂	学年ごとの学習内容が掲載された『本編』と、はがきの書き方などが例示された『日常の書式』、毛筆補充教材などが掲載された『書写の広場』などの『資料編』とで構成されている。また、楷書体と行書体で示した常用漢字表が掲載されている。
教出	学年ごとの学習内容が掲載されたページと、日常生活で用いる手紙の書き方などが示された『書式の教室』などの資料ページで構成されている。また、楷書体と行書体で示した小学校・中学校で学習する漢字一覧表が掲載されている。
光村	学年ごとの学習内容やレポートの書き方などの書式が掲載された『教科書(本編)』と、硬筆学習のための『書写ブック』で構成されている。また、楷書体と行書体で示した常用漢字表が掲載されている。
⑭ 体裁がよく、生徒が使いやすいような工夫や配慮がなされているか。	
東書	判型はB5変型判が採用されている。
三省堂	判型はB5判が採用されている。
教出	判型はA5判が採用されている。
光村	判型はB5変型判が採用されている。
⑮ 文章表現や漢字・用語・記号・計量単位・図版等、生徒が読みやすく理解しやすいような工夫や配慮がなされているか。	
東書	『見やすく読みまちがえにくいユニバーサルデザインフォントを採用しています。』『全ての生徒の色覚特性に適応するようにデザインしています。』と表記されている。
三省堂	『この教科書は、カラーユニバーサルデザインに配慮して編集しています。』と表記されている。
教出	『色覚の個人差を問わず、より多くの人に見やすいカラーユニバーサルデザインに配慮しています。』『見やすさ・読みやすさに配慮したユニバーサルデザインフォントを使用しています。』と表記されている。
光村	『全てのページについて、次の観点から、専門家による校閲を行っています。カラーユニバーサルデザイン(後略)』『目次や単元名には、見やすく読みまちがえにくいユニバーサルデザインフォントを採用しています。』と表記されている。

【参考】

① 題材に関連した神奈川県に関する主な文章や写真・グラフ等の掲載	
東書	『書写活用ブック』 5ページ 『神奈川』
三省堂	52ページ 『四十七都道府県名』に『神奈川』 68ページ 横浜毎日新聞
教出	89ページ 常盤山文庫蔵（神奈川県） 91ページ 『学習を生かして書く』に『横浜みなとみらい新聞』 102ページ 神奈川県 小机城 111ページ 『都道府県名一覧表』に『神奈川』
光村	82ページ 『全国フォント見つけ隊』に『神奈川県横浜市・濱明朝』 90ページ 『全国文字マップ』に『中華街』（神奈川県横浜市） 112ページ 『はがきの書き方』に『横浜市青葉区』 113ページ 『都道府県行書一覧』に『神奈川』 『書写ブック』 24ページ 『都道府県名を練習しよう』に『神奈川』 『書写ブック』 26ページ 『年賀状を書こう』に『横浜市青葉区』

② 一冊ごとの重量（g）		
	冊数	重量（g）
東書	1	284
三省堂	1	228
教出	1	302
光村	1	330